

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 139号

2015/6/01 発行
株式会社 立花商店
坂元 麻美

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願ひ致します。

1、市況の動き：ロンドンが高値を更新、NYは5日続落

① 最高7月 LDN 市場£ 2,126 /7月 NY 市場\$ 3,150 (5/27,26) 先週比 LDN **+14** / NY **-13**

② 最低：7月 LDN 市場£ 2,107 /7月 NY 市場\$ 3,085 (5/29) 先週比 LDN **+28** / NY **-40**

週内価格差額 (①-②) : LDN 市場£ 19 (傾向↑) / NY 市場\$ 65 (傾向↑)

週内建玉推移：LDN 市場 273,559 枚(5/22 終了時) ⇒ 279,900 枚 (5/28 終了時) **+6,341 枚**

NY 市場 218,938 枚(5/22 終了時) ⇒ 222,296 枚 (5/28 終了時) **+3,358 枚**

月曜日は休場。火曜日のロンドン市場はアイボリーにおける先週のカカオ豆着荷量が昨年を下回ったこともあり上昇。水曜日、ロンドン市場は投機筋による買いと、ポンド弱の影響で2015年の新たな高値を更新し引けた。NY市場はドル高の影響で3日連続の下落となった。木曜日ロンドン市場は一時目安となる2100ポンドを下回ることもあったが、終わりの10分で15ポンド上昇し前日比-1ポンドで引けた。金曜日は両市場とも下落。国際カカオ機関は直近で世界のカカオ豆が3万8000トン不足すると公表した。

| | 2015/5/25(月) | | 2015/5/26(火) | | 2015/5/27(水) | | 2015/5/28(木) | | 2015/5/29(金) | |
|-------|--------------|----|--------------|-------------|--------------|------|--------------|------|--------------|-------------|
| | LD | NY | LD | NY | LD | NY | LD | NY | LD | NY |
| 5-Jul | - | - | 2119 | 3150 | 2126 | 3134 | 2125 | 3118 | 2107 | 3085 |
| 5-Sep | - | - | 2104 | 3136 | 2112 | 3126 | 2113 | 3110 | 2100 | 3078 |
| 5-Dec | - | - | 2081 | 3118 | 2091 | 3110 | 2091 | 3095 | 2080 | 3066 |

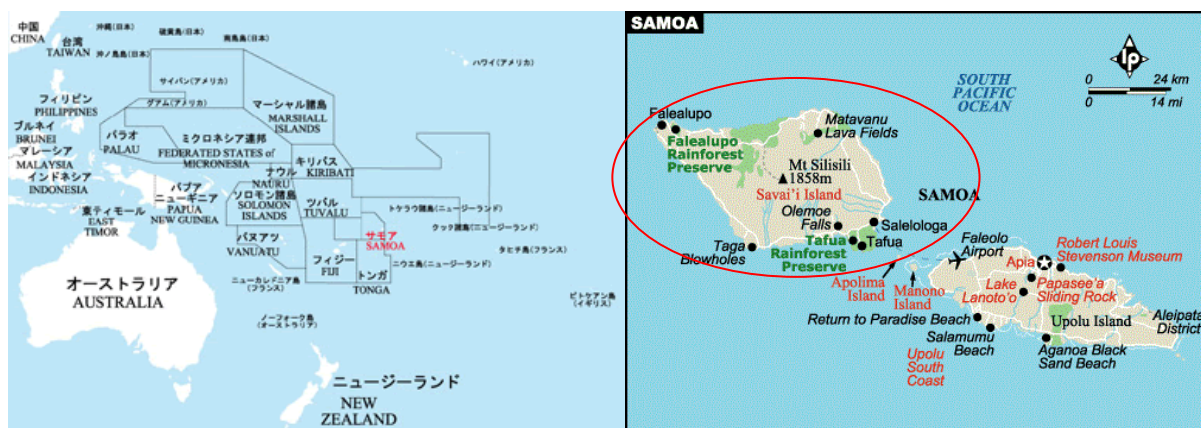
2、ニュージーランド企業によりサモア産カカオ再生(5/15) Whittaker

ニュージーランドのチョコレートメーカーは、サモア産のカカオを仕入れてチョコレートの原料とすることで、サモア産カカオ豆の輸出を再生させることができると訴えている。

Whittaker は今週、サモアのサバイ島の Vaai ファミリーが経営するカカオ農園から収穫されたカカオ豆のみを使用した“サモア産チョコレート”をリリースした。<http://www.whittakersworldwide.com/#/home/>

Whittaker の海外市場担当の Matt Whittaker 氏によるとサモアでは長年の間カカオ豆の輸出の実績がなく、輸出の手順や方法について再度習得する必要があるという。「表現は難しいが、我々はモデルケースとなる農園や、農園経営の良い方法を構築するためのプログラムを打ち立てたい。それを達成すれば他の農園に対しても活用でき、また共同経営の方法も見つかるだろう。Vaai ファミリーの農園の実例は、供給ソースの拡大、次に品質や生産高の工場へとつながるだろう。

Matt Whittaker 氏はサモアの農家を訪問し、カカオ栽培と輸出の改善を促すプログラムについて打ち合わせをしたいと考えている。



3、ナイジェリア：オンド州のカカオ豆、生産目標高に届かず(5/19)

ナイジェリアにおけるカカオの主生産地では、11月から2月まで続いた乾季の影響で、今年の収穫目標量を下回ると見込まれている。オンド州で天候条件が悪いとは、州の目標数字である8万トンを下回ることを意味する。ちなみに昨年のオンド州の収穫量は7万6881トンであった。

オンド州の農業担当大臣は、天候条件によりカカオ栽培が脅威にさらされていると述べている。オンド州では、一度農園を放棄されてしまったカカオ農園を再生させるべく、収量の良い品種のカカオの苗木を植えるプロジェクトを遂行してきた。彼はまた「最近収穫されているカカオ豆は260gあたり300粒と比較的小さい。300粒以下の場合には粒が大きく品質の良い豆とされている。」

ナイジェリアの南西部では通常、5月から10月まで雨季が続き、雨量が多いとカカオ豆の生育がより促進されると農家は考えている。ナイジェリアのカカオ協会の代表は、世界第5位のカカオ産地のナイジェリアは、乾燥状態の続く悪天候の中、今年の生産量は20%下落すると予測している。オンド州をはじめとする南西部の5州だけで、ナイジェリア全体のカカオ収穫量の70%を生産している。

4、アイボリー：2014/15期の収穫量、昨年の記録に達するか(5/13)

アイボリーのカカオ豆主産地の広範囲に大量の降雨があり、秋以降に始まるメインクロップのカカオ豆生育に貢献しそうだ。世界最大のカカオ豆産地のアイボリーでは、収穫量が少ないとされるミッドクロップの真ただ中にあるが、それでも今年度の生産量はすでに昨年のペースを上回っている。

経済省からの情報によると、今年のアイボリーのカカオ収量は過去最大か、少なくとも2013/14期の記録に達するとされている。

アイボリー全体の 1/4 のカカオ豆を生産している中西部の Daloa 地区では、農家により 2 週間連続で大量の降雨があったことが報告されている。農家は「カカオが順調に育っている。多くのカカオ農園では緑が青々しており状態が良い。この先も 2 週間くらい雨が降れば、メインクロップの終わりの時期までには大量のカカオが収穫できるだろう。」と述べている。Daloa 地区同様、沿岸部の San Pedro 地区でも降雨が観測された。また Duekoue 地区の農家は「今シーズン、ミッドクロップの収穫は例年よりも長く続き、十分な収穫量となるだろう。6 月～7 月にはカカオの期にたくさんのカカオポッドが実り、8 月に向けて小さいカカオポッドも見られる。」と述べている。

アイボリーのカカオ栽培地帯の中核である Soubre 地区では、先週は雨が降らなかったが今週に入り 58.5mm の降雨が観測された。農家は「コンディションは非常に良い。ミッドクロップに収穫できそうなカカオポッドだけでなく、来季のメインクロップに向けてもカカオが順調に育っている。同様に Agboville, Divo, Tiassale, Gagnoa, Meagui でも天候条件が良く、カカオが順調に成長している。

5、カメルーン：買い手不足によりカカオ豆農家保証価格が下落(5/15)

ミッドクロップが始まって以来、カメルーンカカオ豆に対する買い手が不足しており、農家へ支払うカカオ豆買い付け価格が下落している。農家によるとカメルーンでは取引可能な数量が少なく、多くの業者が様子見をしているという。カメルーン南部の Sangmelima 地区では、kg あたりのカカオ豆価格が 4 月時点の 2.13USD から今月は 1.92USD へと下落した。またカメルーンのカカオ主生産地のひとつである中部の Bafia 地区では取引価格が 2.16 から 2.25USD となり、先月の 2.26USD から下落した。

カメルーンのカカオ豆収穫期は 8 月 1 日から翌年 7 月 31 日までとなり、10 月～1・2 月のメインクロップと 4・5 月～6・7 月のミッドクロップに分けられる。下記は、2015 年 5 月の地域別カカオ豆取引価格である。

(単位 USD)

南西部

Mamfe 1.57-1.70

Konye 2.06-2.11

Mbouge 2.06-2.09

Muyuka 2.07-2.12

Kumba 2.09-2.18

中部

Bafia 2.22-2.26

Emana 2.09-2.18

Mbalmayo 2.09-2.15

南部

Ebolowa 1.87-2.09

Sangmelima 1.92-2.13

東部

Bertoua 1.42-1.48

Yokadouma 1.28-1.39

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp